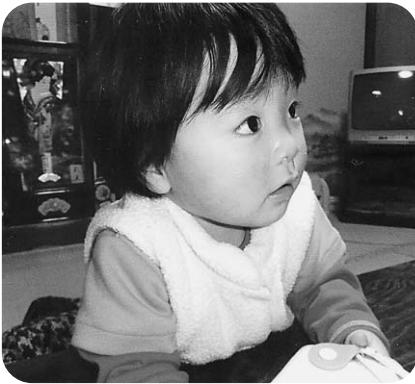


あこやが ちゃん*



**みか
美佳ちゃん**(平成20年8月15日生)
両親=長谷幸一・綾子さん〔二〕
「毎朝ズーミンに会える事が楽しみで
テレビの前にすわっているよ。」



**かんな
菜奈ちゃん**(平成21年8月31日生)
両親=松丸 誠・友子さん〔後草〕
「カメラ目線でちょっとおすまし♡
お座りしてなんでもニギニギ!!」



**こうすけ
孝輔ちゃん**(平成20年6月10日生)
両親=古谷孝義・希世美さん〔萬歳〕
「かっこいい働く車が大好き!
ずっと見ても飽きないよ♪♪」

* すこやかちゃんを募集しています *

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、旭市保健センター、飯岡保健センター、秘書広報課にあります。

ひらひらと飛びながら花を訪れるアゲハチョウ。春から夏にかけて庭や公園などによくやつてきます。ストローのような長い口を伸ばして、花の奥の甘い蜜を吸います。チョウの中で大きくて、色や模様もきれいなアゲハチョウを観察することができます。

写真のモンキアゲハは最も大型のアゲハで、黒い羽に大きな白い斑点があるのが特徴です。もともとは暖かい地方に住んでいた種類ですが、北の地方にも広がってきました。同じようにナガサキアゲハという黒いアゲハも最近北上ってきて、市内でも見られるようになりました。

温暖化の影響ででしょうか。

アゲハチョウの羽の色と模様は、鱗粉という魚のうろこのようなものがびつしりと並んでできています。虫眼鏡で拡大してみると、その美しさにびっくりします。

アゲハチョウの仲間は幼虫のときに食べる植物が決まっています。アゲハチョウの仲間にはミカン

が、セリやニンジン、タブノキやクスノキの葉を食べる種類もあります。親のチョウは幼虫の食する植物を選んで卵を産み付けます。卵からかえった幼虫は緑色で保護色になつていて、頭にある大きな目玉模様や、触れると出す赤い角と嫌なにおいで、敵を驚かせて身を守ります。

(齊藤敏二)



ふるさとの自然



4

B級グルメという言葉を最近よく耳にします。その仕掛け人ともいべき「富士宮やきそば学会」の渡辺会長を迎え講演会が開かれました。とても興味深かったのはそのPRのうまさ。マスコミが飛びつきそうなネーミングやイベントで、お金を掛けずにそれ以上の効果を生み出していました。旭市をたくさん取り上げてもらいたい。市の広報担当としても、とても勉強になりました。(ま)

暮らしのカレンダー

- | | |
|--------|---|
| 11日(日) | 参議院議員通常選挙投票日 |
| 12日(月) | あさひ砂の彫刻美術展(～19日(月)) |
| 17日(土) | 矢指ヶ浦・飯岡海水浴場オープン
(～8月22日(火)) |
| | ミスセタコンテスト(午後1時30分～東総文化会館) |
| | 飯岡海浜プールオープン(～8月29日(火)) |
| 19日(月) | 海の日 |
| 24日(土) | いいおかY.O.U・遊フェスティバル2010
(～25日(日))飯岡海岸・萩園) |
| 31日(土) | サマーフェスタ in 矢指ヶ浦 |

編集後記